

千葉県 NEWS

CHIBA CANCER CENTER NEWS

がんセンターニュース



第9号
平成20年4月10日発行
発行:千葉県がんセンター

理 念

心と体にやさしいがん医療

患者さんの視点に立って、
患者さん本位の医療を、
患者さんとともにいきます。

がん看護の均てん化に向けた看護局の取り組み

前看護局長 山下 朱實



がん対策基本法が施行されて1年、当センターでは、病院をあげてがん医療の均てん化を推進してきました。看護局でもがん看護の均てん化を重点目標に掲げ、各部署の看護師それぞれが役割

を發揮しています。

主な事業は、がん医療従事者の研修事業です。まず、平成19年7月に第18回がん看護実践セミナーを開催し、136名の参加を得ました。そのうち、他医療機関や訪問看護ステーションの看護師42名の参加があり、当センターで展開しているチーム医療、がん看護について発表し高い評価をいただきました。

次に、「がん看護分野における質の高い看護師育成事業」です。これは、がん患者に対するケアの充実のため、厚生労働省が都道府県に委託し、県が臨床実務研修を実施することによって、臨床実践力の高い専門的ながん看護師の育成を図ることを目的としたものです。千葉県からの委託を受け、県内14名の看護師を対象に、平成19年10月から8週間の研修を実施しました。研修カリキュラムの作成から、講義、病棟実習、各専門部署のローテー

ション実習、ケースレポート作成支援など看護局全体で力を入れた事業です。又、研修の実際を多地点TVカンファレンスで発表したところ、全国の拠点病院から関心が寄せられ活発な討議になりました。この研修内容と成果は看護研究とし、がん看護師養成プランとして発信したいと考えています。

さらに、看護師は多くの院外研修会で講師として活躍しました。がん化学療法看護では、研修をシリーズ化して、年間7回開催し、毎回院外から10名前後の参加があります。がん化学療法看護の認定看護師は全国4ヶ所で講演を行いました。緩和ケアでは、医療機関、看護協会など県内6ヶ所で、在宅支援では県内3ヶ所の講演会等で講演をしています。

こうした取り組みは、県内のがん看護の水準をひき上げ、確実にパワーアップさせていくことでしょうか。また、看護師自身の仕事へのモチベーションの高揚、看護実践能力の開発にもつながるものと思います。平成20年度も引き続き、院外からの要請に応えられるよう、日常の看護の質向上に努め、新たな看護ケアや看護提供システムを創造していきたいと考えています。

研究の現場から

がんの分子診断電子ファイル化・ オンライン報告の実践 研究局 上條 岳彦

神 経芽腫の分子診断・オンライン診断システム

千葉県がんセンター研究局は日本全国の大学病院、小児医療センターから神経芽腫の分子診断を依頼されています。神経芽腫は小児悪性固形腫瘍でもっとも高頻度の悪性腫瘍であり、進行した例では5年生存率30%程度と未だに予後不良な小児腫瘍として知られています。神経芽腫の予後を決定する因子としては病期（がんの進展度）のほかに、発症時年齢・病理組織型ならびにがん遺伝子MYCN 遺伝子増幅の程度（図1）・腫瘍DNA含有量などの分子生物学的な診断が非常に有用であり、これを私たちが担当しています。この結果はパスワードセキュリティをかけた電子メールにて各施設へ平均9日程度で返却されています。現在、日本の神経芽腫新規発症例の9割程度が現在千葉県がんセンター研究局で解析されていると推測され、検体総数は2540検体（2007年末）に達しております。

今後は新規診断技術の進歩を積極的に導入することを計画しています。その一環として腫瘍のDNA（ゲノム）の増減を半定量的に判断するアレイCGH（Comparative Genomic Hybridization）法を導入しました。これは細胞から抽出した高分子DNAをプローブに、第1番～22番、XYの全てのヒト染色体を対象に細胞に起きた染色体コピー数の変化（欠失、過剰、増幅）を測定するゲノム解析技術です。

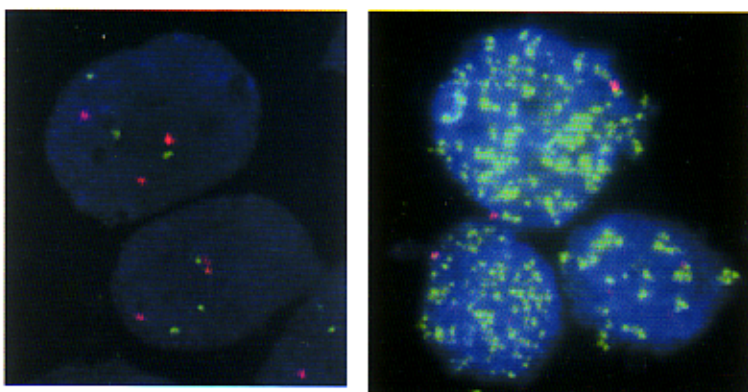
成人がんの組織バンクと

オンライン診断システムへの展開
さらに、現在千葉県がんセンターは千葉県における都道府県がん診療連携拠点病院であり、千葉県におけるがん医療の中核となっています。今後は地域がん診療連携拠点病院とこれらのが

んの分子診断電子ファイル化・オンライン報告システムによって密接に連携し、分子診断の提供と共に“広域千葉がん組織バンク”の形成を目指したい所存です（図2）。関係各位の皆様との一層の連携を通じて、県民の皆様のがん医療に貢献していきたいと研究局一同思っておりますので、今後ともよろしくご依頼申し上げます。

研究局 大平美紀、中村洋子、藤本修一、中川原章の皆様
様に感謝いたします。

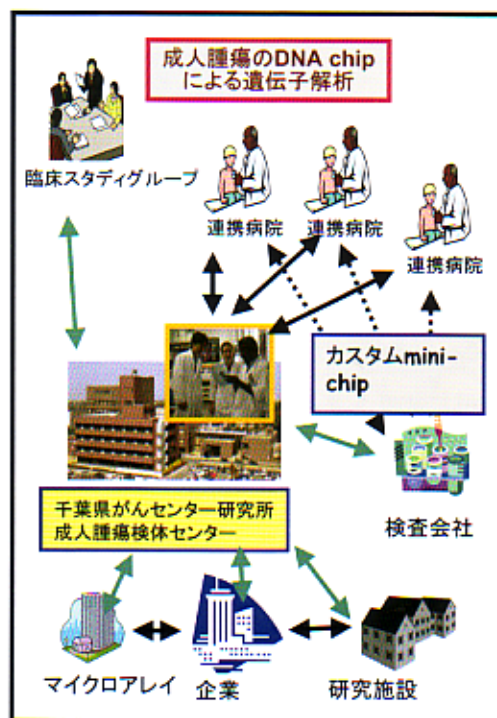
図1. MYCN遺伝子のFISH (Fluorescence in situ Hybridization)法による増幅判定



MYCN遺伝子: single copy MYCN遺伝子: Amplification

Red signal: 2番染色体マーカー; Green signal: MYCN

図2. 千葉県がんセンターを中心としたがん診療連携への応用:
広域千葉がん組織バンクの構築に向けて

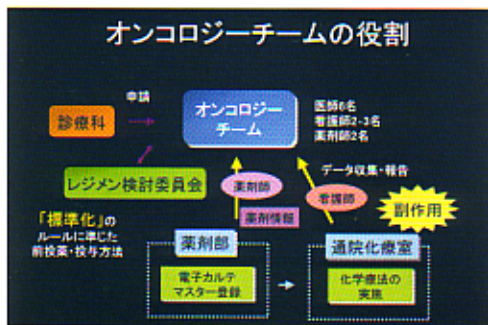


看護の現場から

『通院化学療法における副作用制御 —チーム医療が果たす役割—』 外来 松原 裕理

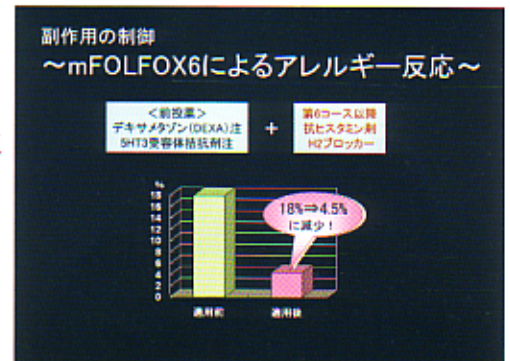
千葉県がんセンターの通院化学療法室では、1日約50名の患者さんが通院で化学療法を受けられています。ここで行われる全科の化学療法を一括管理しているのが、化学療法に精通した医師・看護師・薬剤師で構成される「オンコロジーチーム」という専門組織です。オンコロジーチームの役割は図の通りです。レジメン管理と副作用データの収集により、いくつかのレジメンが修正され、多くの副作用制御に成功してきました。その取り組みの1例を紹介します。

大腸がんの標準的治療である mFOLFOX6 という化学療法によるアレルギー反応の制御に関する取り組みです。当センターでこの治療を受けた患者さん123人のうちの22人、18%の患者さんが、アレルギー反応によりこの治療を中止していました。その中には、この治療



が著効していたにも関わらず、治療の中止や変更を余儀なくされた患者さんもいます。このことをきっかけに、海外の臨床データを収集し、この治療で使われているオキサリプラチンが6コース以降で高率にアレルギー反応を発現しやすくなることから、オンコロジーチームで協議を重ねた結果、6コース以降に抗ヒスタミン剤とH2ブロッカーを追加する独自のアレルギーレジメンを開発し、導入しました。以降、アレルギー反応の発現は18%から4.5%に激減しました。

この取り組みのきっかけは、「アレルギーが出てしまったけれど、この治療は効果があるから続けたい」という患者さんの声でした。今回紹介した取り組みはほんの1例で、この他にも、壊死性抗がん剤の血管炎や乳がんの治療に使用される FEC100療法の吐き気などの副作用制御に成功していますが、どの取り組みもきっかけは患者さんの声でした。私たち看護師は、患者さんの1番近くにいる医療者として、これからも患者さんの声に耳を傾け、患者さんが安心して医療を受けられるように支援し続けたいと思います。



院内の改装

腫瘍血液内科・外来化学療法室・図書室

外来部門を中心に改装を行っています。これは外来化学療法を受けている患者さんの増加に対応するもので、現在の化学療法室に隣接する腫瘍血液内科外来を改装して35床が外来化学療法室として稼働可能になります。4月中旬に完了の予定ですが、医療の安全が第一ですので、フル稼働は皆さんが習熟してからとなります。それに伴い腫瘍血液内科は2階に移ります。図書室の改造、検査部門の心電図室、肺機能検査室の移動も行われます。また3月6日、外来にスターバックスコーヒーが開店しました。年中無休ですので、外来受診された患者さん、入院患者さん、ご家族の方達に、街で親しんだおいしいコーヒーと軽食を提供できる体制をとりました。

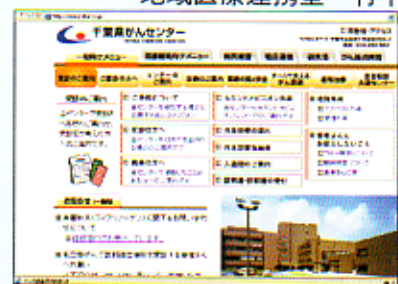
診療機能強化委員長 丸岡 正幸

千葉県がんセンター

ホームページ公開のお知らせ

平成20年2月より、ホームページを新しく公開いたしました (<http://www.chiba-cc.jp/>)。『患者さん・一般の方に見やすいわかりやすい』、『医療機関に利用しやすい』ことをモットーに作成いたしました。まだ、作成途中の箇所もございますが、是非一度ご覧下さい。

地域医療連携室 竹中 敦子



スターバックス千葉県がんセンター店がオープンしました！

心と体にやさしいがん医療を目指し、がん専門病院として全国初の院内カフェがオープンいたしました。外来患者さんの待ち時間のひとときや、入院患者・ご家族・お見舞いの皆様のご歓談の場としてご利用いただきたいと思います。病院という場所は緊張を強いられることが多いと存じますが、普段の気持ちを取り戻したり、普通の生活を実感できる場所としてお役に立てれば幸いです。また、センターで働くスタッフの皆さんにとりましてリフレッシュできる場として活用ください。



医事経営課 大和久 貞夫

店長のメッセージです。

3月6日にオープンしたこの店舗は、千葉県内初となる病院内立地の店舗です。病院を利用される全ての方の心の万能薬になれるよう、スタッフ一丸になって日々美味しいコーヒーと心のもったサービスをお届けしています。小さな店舗ではありますが、スターバックスから記憶に残るたくさんの1シーンが生まれていってくれたらと思います。これから始まるがんセンター店のストーリーに、より多くのお客様に参加していただけるよう、スタッフ一同心よりお待ちしております。

平成20年4月1日現在の外来診療担当一覧です。

外来診療担当医表						
診療科	曜日	月	火	水	木	金
センター長外来			電			
消化器外科		永田 趙 島田 池田	山本(宏) 早田 郡司	滝口 貝沼 郡司	永田 趙 滝口 趙	山本(宏) 貝沼 早田
消化器内科		山口 傳田	傳田 須藤	山口 傳田 (第2.4)原 (第1.3.5)中村	傳田 原	中村 (第1.3.5)須藤
腫瘍血液内科 (外来化学療法科)		高木 熊谷 伊勢	酒井(カ) 辻村	酒井(カ) 熊谷 三村	熊谷 伊勢	酒井(カ) (AM)熊谷 辻村
整形外科		館崎 米本	石井 竹内	館崎	館崎	館崎 石井 (PM)装具外来
乳腺外科		山本(尚) 藤本 三好	山本(尚)	山本(尚) 藤本 三好	山本(尚)	山本(尚) 藤本 三好
皮膚科				(PM)岩澤		
呼吸器外科		木村 飯笹 中島		木村		木村 飯笹 石川
呼吸器内科		新行内	新行内 板倉 西村	新行内 板倉	新行内 板倉 西村	新行内
(禁煙外来) (アスベスト専門外来)					新行内	
頭頸科		土井 (新患のみ)	土井 浅野 野畑		土井 浅野 野畑	
泌尿器科		植田(新患) 今村	深沢(新患) 浜野 佐塚 栗山	丸岡(新患) 栗山	栗山(新患) 丸岡 五十嵐 植田	浜野(新患)
婦人科		(AM)錦見 (PM)田中	田中 大崎 鈴鹿 錦見	大崎	田中 大崎 鈴鹿 錦見	鈴鹿
脳神経外科		(PM)井内		井内 堺田		(AM)堺田
緩和医療科		渡邊/坂下	渡邊/坂下	渡邊/坂下	渡邊/坂下	渡邊/坂下
歯科			(AM)鶴澤			
放射線治療部		幅野 酒井(光) 荒木 今草倍	幅野 酒井(光) 荒木 今草倍	幅野 酒井(光) 荒木 今草倍	幅野 酒井(光) 荒木 今草倍	幅野 酒井(光) 荒木 今草倍
核医学診療部		戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山	戸川 久山
画像診断部		高野 船津	高野 船津	高野 船津	高野 船津	高野 船津
内視鏡検査		原 須藤	山口 中村	須藤 中村/原	山口 中村 松本/宮崎	山口 傳田 原 須藤
超音波検査		中村	原 (高畑)		須藤 (高畑)	松本/深澤 久保/前田
心臓超音波検査		(PM)高部		(PM)佐藤		
消化器X線検査				当間/深澤 久保/前田		
緩和医療センター		渡邊(敬)	渡邊(敬)	渡邊(敬)	渡邊(敬)	渡邊(敬)

外来受付時間 午前9時～午前11時 予約センター
 診療時間 午前9時～午後5時 TEL.043(264)5431 内線2311
 ※医師の都合により休診・変更の場合があります。 2318
 ※歯科、皮膚科は、当センター患者様のみ受診可能です。 2527

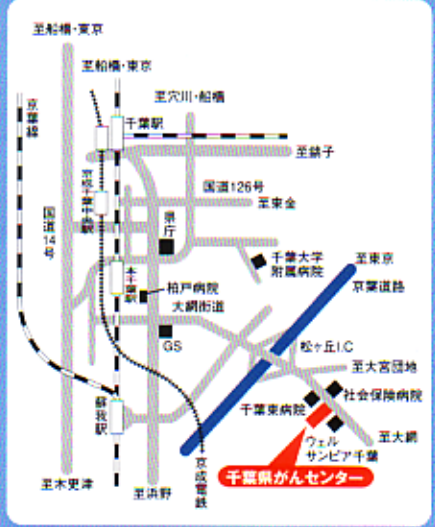


JR千葉駅から 所要時間:約25分
 千葉中央バス: 誉田駅、鎌取駅、千葉リハビリセンター、大宮団地(星久喜経由)行乗車・厚生年金休暇センター前下車

JR鎌取駅から 所要時間:約13分
 千葉中央バス: 千葉駅・蘇我駅行乗車・厚生年金休暇センター前下車

JR蘇我駅から 所要時間:約16分
 千葉中央バス: 鎌取駅行乗車・厚生年金休暇センター前下車

松ヶ丘I.Cから
 大網街道を大網へ向かって約2km右側



千葉県がんセンター
 〒260-8717 千葉市中央区仁戸名町666-2
 TEL.043-264-5431 FAX.043-262-8680
<http://www.chiba-cc.jp/>